

平成 26 年度事業実施状況

I 情報提供の方策

1 市町村等向け研修会の開催（新規）

市町村又は保健所単位レベルでの協議会の活用を検討するための気運の醸成を図るため、市町村及び保健所（健康福祉センター）を対象とした研修会を開催した。

日 時 平成 26 年 10 月 29 日（水）13：30～16：30

場 所 県庁研修館講堂

参加者数 市町村国保主管課及び生活保護主管課職員、健康福祉センター職員等 約 70 名

内 容 ・ 栃木県後発医薬品安心使用促進事業について

栃木県保健福祉部薬務課 課長補佐 林 恭子

・ 国民皆保険とジェネリック医薬品 日本ジェネリック製薬協会 三倉美保

・ 市町村国民健康保険後発医薬品差額通知の実施状況について

栃木県保健福祉部国保医療課 課長補佐 塩原千恵子

・ 後発医薬品安心使用促進の取組とその効果等について

東京都足立区区民部副参事 ジェネリック・保健事業推進担当課長 坂田光

2 広域病院等後発医薬品採用リストの内容更新（継続）

協力病院（19 病院）からの情報提供を受けて、昨年度作成した後発医薬品の採用リストを、平成 26 年 8 月の状況で修正し、県のホームページを更新する。（平成 27 年 3 月予定）

II 使用促進に係る環境整備

1 県後発医薬品安心使用促進協議会の開催（継続）

後発医薬品のさらなる安心使用の促進に向けた検討を行うとともに、県医療費適正化計画における後発医薬品に関する目標（後発医薬品の数量シェアや普及啓発等の施策）の進捗管理等を含めた検討を行う。

日時等 平成 27 年 2 月 6 日（金）13：30～（ホテル東日本宇都宮）

内 容 平成 26 年度事業実施状況及び平成 27 年度事業計画等の協議

「後発医薬品のさらなる使用促進のための新たなロードマップ」を踏まえた対応策や事業内容等の検討を含む。

2 後発医薬品モニター薬局等調査の実施（継続）

平成 22 年度に調査を開始した、モニター薬局及び医薬品卸売販売業者に係る後発医薬品の調剤・取扱い等についての調査を継続実施した。（平成 26 年 7 月）

なお、調査報告書を作成し、県ホームページに掲載する。（平成 27 年 3 月予定）

○調査対象薬局 20 薬局 回答数 20 薬局 回収率 100%

調査対象医薬品卸売販売業者数 5 業者 回答数 5 業者 回収率 100%

3 イベント等での啓発活動（継続）

「お薬相談・展示会」（主催：栃木県、県薬剤師会等）

日 時 平成 26 年 10 月 25 日（土）11：00～16：00

平成 26 年 10 月 26 日（日）11：00～16：00

場 所 ベルモール 1F カリヨンプラザ（宇都宮市陽東）

内 容 後発医薬品 Q & A コーナー設置

患者啓発用パンフレット「ジェネリック医薬品の話」の配布 等

参加者数 約 2,500 人

4 啓発用リーフレットの作成（新規）

啓発用リーフレット（ジェネリック医薬品希望カード付き）、県民への啓発に活用する。

（平成 27 年 3 月予定）

○印刷部数 60,000 部